

世界自然遺産の島”屋久島”

◆屋久島ってどんな島？

平成5年に”世界自然遺産”に登録された島。
マグマが地表に出て冷え固まった花崗岩で形成されてできた島です。
九州最高峰の”宮之浦岳(1,936m)をはじめ、1,000m超級の山々がそびえ
亜熱帯から冷温帯までの植物が分布する特異な生態系の島です。
周囲が約130Kmで海拔0mから標高1,936mまでの高低差をもち
海岸線と山岳部ではまったく気候が異なり、
ハイビスカスやブーゲンビリアが彩る亜熱帯から、屋久杉や高山植物しか育たない
冷温帯までの植物分布いわゆる”植物の垂直分布”が見られます。
すなわち、北海道から沖縄までの気候を持つ島です。

◆屋久島ってどこにあるの？

九州本土の最南端(鹿児島県佐多岬)から南に65km、東シナ海と太平洋に囲まれた
洋上に浮かぶ島で”洋上のアルプス”と例えられています。
交通は、飛行機で鹿児島空港から屋久島空港まで約30分。
高速船では、鹿児島港から宮之浦港(又は安房港)まで約1時間50分。
フェリーでは、鹿児島港から宮之浦港まで約4時間。

◆屋久島って何が見られるの(観光地含む)？

①屋久杉

屋久杉とは樹齢1,000年以上のものをいい、1,000年未満は小杉といいます。
代表的なものには、縄文杉(推定樹齢7,200年)や紀元杉(推定樹齢3,000年)
大王杉(推定樹齢3,000年)、夫婦杉(推定樹齢 夫:2,000年・妻:1,500年)などがある。
お土産品としてもお箸などの小物からテーブルなど大きいものまで色々なものがあります。

②「ヤクザル」「ヤクジカ」

屋久島固有の「サル」と「シカ」が多く見られます。
「ヤクザル」は、本土の「ニホンザル」と比べて小柄で体毛が長く我が物顔をして
道路で毛づくろいをするサルの群れが多く見られます。
「ヤクジカ」は敵の少ない屋久島で育ったため、体格が小さく角も短い。
人間を見かけるとじっと見つめることが多くあります。

③ウミガメの産卵

毎年5月～7月にかけて、「アカウミガメ」と「アオウミガメ」が産卵のために上陸します。

7月下旬～8月上旬にかけては、ふ化が見学できます。

ウミガメは物音や光に敏感なため、ガイド付の見学となっています。

④滝

「大川の滝」、「千尋の滝」、「トローキの滝」が有名です。

「大川の滝」は、日本の滝百選に数えられる名瀑。落差88mの巨大な滝で険しい岩肌を滑り落ちる姿は迫力満点です。

「千尋の滝」は、400m×200mという巨大な花崗岩の一枚岩のV字形のくぼみを流れ落ちる。落差60m。

「トローキの滝」は、全国でも珍しい海に落ちる滝です。落差6mと小規模ながら背景にはモッチョム岳がそびえ眺めはすばらしい。

⑤屋久島環境文化村センター

屋久島の自然、暮らしなどが学べる施設。

縦14m、横20mのスクリーンに雄大な自然を映し出す大型映像ホールがあり、約25分の迫力ある映像を上映します。

吹き抜けの展示ホールには、海・里・山をジオラマや写真・パネルなどでわかりやすく解説しています。

⑥志戸子ガジュマル園

ガジュマルは、馬の尾のような根が垂れ下がりジャングルを思わせる森を形成する亜熱帯植物。

一周15分ほどの遊歩道があり樹齢300年のガジュマルや木の根をぐるアコウなどが観察できます。

⑦屋久杉自然館

屋久島と屋久杉を紹介する資料館。

樹齢1,660年を超える巨大な屋久杉や、屋久杉伐採に使用された全長2mの大型チェーンソーなどを展示し、大迫力のハイビジョンシアターもある。

その他、温泉あり・屋久杉加工工場見学あり、体験などいろいろ楽しめます。

◆屋久島の名物・名産は？

●食べ物

- ・ぼんかん、たんかん
- ・首折れサバ
- ・とびうお料理

●お土産品

- ・屋久杉加工品
- ・紫うこん、春うこん
- ・焼酎